

手触りのある音楽を。

”打鍵“を超えて

AKI mochizuki

望月晶

ピアノリサイタル

2025

Piano Recital

R. シューマン

アラバスク ハ長調 Op.18

幻想曲 ハ長調 Op.17

F. ショパン

バラード 第3番 変イ長調 Op.47

4つのマズルカ Op.30

ワルツ 第5番 変イ長調 Op.42

M. ラヴェル

ラ・ヴァルス

2.22 2025 Sat.

18:30 開演 18:00 開場

MUSICASA

一般:3,500円 U25:3,000円

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:282-768]

お問い合わせ: Aki Mochizuki Piano Recital TEL:050-7107-2049

共催: M for M 後援: 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 / 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション



AKI mochizuki

望月 晶 ピアノ

第89回日本音楽コンクールピアノ部門第2位及び岩谷賞、多摩フレッシュ音楽コンサート2016ピアノ部門最優秀賞受賞。室内楽における活動は多岐に渡り、トリオスベラとして、第42回霧島国際音楽祭音楽監督賞受賞、第88回日本音楽コンクールヴァイオリン部門共演者として、コンクール委員会特別賞受賞。また、いしかわミュージックアカデミーにて公式伴奏者を務める他、近年では徳永二男氏、向山佳絵子氏、佐々木亮氏らと共演。2023年夏には、八ヶ岳高原ロッジサマーリゾート・ミュージック・ウィークにて、葉加瀬太郎氏、小野明子氏と共演。近年は、声優朗読劇フォアレーゼンのピアニストを務めるなど、幅広く活躍している。これまでにピアノを今井啓子、小森谷泉、練木繁夫各氏に師事。室内楽を練木繁夫、山崎伸子各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。現在は同大学院修士課程に特待生として在籍。2019、20年度公益財団法人青山財団奨学金、2022年度宗次エンジェル基金、2022、23年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

それは、切り裂く波だった。

ひたひたと溢れて、おもむろに振れ始める冒頭。彼女によるこの瞬間を待ち侘びて、いよいよ腰掛け直した矢先、風いだ身体はたちまち裂かれた。楽器の限りを優に越えた音像。その背後には、作曲者の心内の音ならざる音までたった今も感受して震え続けているような、あまりにも感じやすいひとりの存在が浮かんだ。初めての体験に、私は立ちすくんでしまった。これが、望月晶によるラヴェル「ピアノ三重奏」を聴いた時の記憶である。

譜面や楽器、人から発されたあらゆる音を聴き分ける、コンマ以上の感覚を持ったひと。当然ソリストにとどまることはなく、共演者としてより多弁に音楽をする存在となった。

くしゃっと愛らしくほころんで応える顔には、どこか深い淵が覗く。人と出会い、見送り、惑いながらも音を探し続けた。そうしていま、無類の現在地から、先人たちと共にありったけのものを出し尽くす。

今回のプログラムは《ラ・ヴァルス》を中心に組まれている。彼女がこれまで培ってきた経験から、様々な楽器へのあざやかな洞察も伺える。ピアノの枠を超えた試みに満ちた作品像が放たれるのだろう。前半には、ようやく精神と技術の両面で肌が合うようになったというR.シューマンを、薄手の技術でなく、心を込めて。

「生命の持つ手触りを感じたままの音楽を」そっと、ここに留め置きたい。

横山 希

音楽家

東京藝術大学・桐朋学園大学音楽学部管打楽科伴奏助手等



 MUSICASA